



# KARIBIB の回想



2023 年度 1 次隊 / 数学教育 / 渡辺 崇人

2024 年 1 月 5 日 Vol.8

明けまして、おめでとうございます 🎉。この通信、当初の予定では 2023 年の出来事は 2023 年内にということなので vol.15 程度まで更新している予定でしたが、なかなかペースが上がらず...(-\_-;)。しばらくは 2023 年の出来事が続きます。

さて、自身にとっては初めての南半球の国で、非常に暑い中で迎えるこちらのクリスマス・年越しです。中でもショッピングモールで “All I Want For Christmas Is You (Mariah Carey)” を汗をかきながら耳にした時の違和感はまだ抜けません。下の写真 1, 2 は世界最古の砂漠とも言われるナミブ砂漠で年越しをした時の風景です。海外での年越しは初めてで、同期ボランティアと話していた「年越しを砂漠で」という夢が一つ叶い、感無量の瞬間でした。これらも書くことが多いため、またどこかで詳しく紹介しますね。



写真 1 (左) : 砂漠の星空です。写真では伝わりませんが、本当に星が近くにあり、プラネタリウムより迫力が凄く、人生で一番の星空でした。天の川、見えますか？

写真 2 (右) : 砂漠の初日の出です。砂漠は夜・朝は非常に涼しかったです。時刻は 6 時 20 分頃。日が出たと思ったら、3 分ほどで写真の位置まで昇りました。

今日は、放課後の日本語クラスについて紹介します。Vol.6 で記載した通り元々は日本に興味がある生徒からの提案で始まったクラスです。日本に興味をもったきっかけを聞くと “アニメ” とのこと。それを観ているうちに日本語を少しずつ覚え、日本に行ってみようと思うようになったそうです。自身はアニメには疎い方ですが、この話を聞いてから 「こんな風に国際交流の一役も担えるのか」とその見方が変わりました。またアニメは言葉を聞き取れなくても、画から情報が分かるため、この生徒のように語学勉強として観ることは悪くないなと思い至り、海外の 5・6 歳の子ども向けのを少しずつ視聴するよ

うになりました。この生徒は低迷している僕の語学に少しの光を照らしてくれた語学の恩師でもあります(笑)。

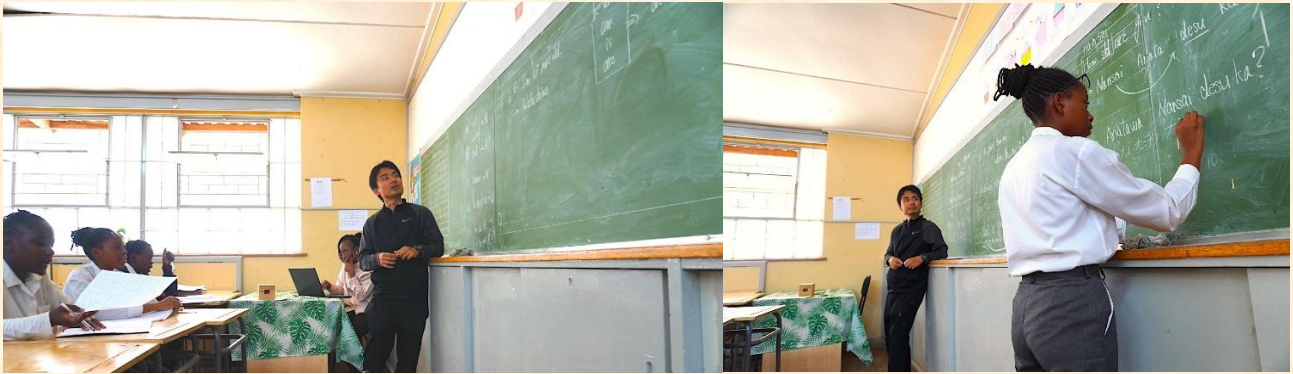


写真3 (左), 4 (右) 日本語クラスの様子

さて、生徒の語学力ですが初めて会った時から驚くことばかりで、挨拶はおろか、ひらがなまでアニメで覚えてしまったというレベルからスタートしました。そのため“そのレベルからなら教えるのには苦労しないだろう。まして日本語だし。”と高を括っていましたが、後々これが大きな間違いであることに気付きます。例えば、“I=私は、My=私の”と日本のように教えます。次に“My brother is 15 years old. = 私の兄弟(は)15歳です。”という文章を見た時に、“日本語の(は)はどこから来て、なぜwaと発音するのか？どうして、(わ)ではなく(は)なのか？”といった質問や、「大丈夫」という言葉一つとっても、“相手の調子や体調を伺う「大丈夫？=Are you OK?」、元気だよと答える「大丈夫！=I'm OK.」、何かを勧められた時に断る「大丈夫です=No, Thank you.」といったように大丈夫を疑問文や肯定文、または断る時に使うけど、どうして同じなのか？日本人はどうやって使い分けるのか？”といった質問が出た時は自身でも「なんでだ(´・ω´)?」と即答することができませんでした。

このように、教えるという経験を通して初めて日本語の奥深さに気付き、ナミビアでの学びと同じくらい日本や日本語について考え直すきっかけとなりました。また、日によって参加人数は前後しますが、皆モチベーションが高く、必ず家で復習してくるため、上達の速度は尋常ではない程速いです。「日本語は難しくないの？」と聞くと「アフリカーンス(現地語)に比べれば」と返ってきます。ちなみにナミビアには、オシワンボ・ヘレロ・アフリカーンス・ダマラといった現地語がいくつか存在し、使う言葉は少しずつ異なります。英語だけでなく、それら現地語も幼少の頃より扱っている彼女らからすると言語習得にはある種才能があるのかもしれませんがね。そんな彼女らに比べて、自分の英語力はと問われると.....何をやっているんだといつも刺激をもらっています。現在彼女らは、ひらがな・カタカナが書け、数字は1万まで数えることができ、会話では日本の高校生と簡単な日常会話をするというシチュエーションで、受け答えの練習をしています。既に自己紹介で①自分の名前、②年齢、③生年月日、④趣味、⑤ナミビアのオススメ、⑥日本でやりたいこと、⑦将来やりたいことまでは原稿を見ずに言うことができます。本当に驚くばかりで、今年の上半期に実施を考えている日本の高校との交流事業では中心になってもらえらと考えています。



写真5（左）：卵焼きを食べている様子、写真6（中央）：箸の使い方を教えている様子、写真7（右）：人生で初めて箸を使って食事する様子

上の写真は「どうしても日本食が食べてみたい」とリクエストされたため、よく火を通した卵焼きを食べてもらっている場面です（自身の料理についてはまた紹介しますが、なぜか卵焼きだけは作れます）。当日は既に箸を使いこなせるという達人が、今日初めて箸を使うという生徒に持ち方を丁寧に教え、その甲斐あってか数分後には物を掴めるようになっていました（それにしても速かった...）。味の感想を聞くと「すごく美味しい♪」と言ってくれホッとしました。実はこちらには醤油味が苦手な方が一定数いるため、今回はケチャップで味付けをしましたが、彼女たちは「次回は醤油味に挑戦したい」とのことです。

そんな彼女たちの将来の夢は“日本に留学すること”。行ってみたい場所は“大阪”、見てみたいものは“桜”と“火山”だそう。自分たちの夢を語る度に「きっと」ではなく「必ず実現させる」と口にしてその姿からは、本当に夢を叶える人って、能力や才能に溢れている人よりもこういう人だよなといつも刺激をもらっています。今年の抱負の一つはこのクラスがもっと楽しくなるように工夫し、彼女らの夢の後押しをすることです。

### ちょこっと余談

少し現地語の話を出したため、現地語の「こんにちは（=Hello）」を紹介したいと思います。

#### 《オシワンボ語》

Uhala po (ウハラポ)

#### 《ヘレロ語》

Uhara nawa (ウハラナワ)

#### 《アフリカーンス語》

Goeie dag (フッデグッハ)

※ オランダ語から派生

#### 《コエコエ語/ダマラ》

! Gâi tsēs (ダンセーズ)

※ ! は吸着音といって、舌を上あごに付けて勢いよく下方に離すことで出るコルク栓が空いたような音で、正確な音は日本語の“ダン”とは異なります。

《解答》最後に、前回の数学の問の解答です。

（問）原価の 15%の利益を見込んで定価 N\$690 とした商品の原価を求めよ。

これは消費税を 15% とした時に、原価＝税込前、定価＝税込後とした消費税の計算と同じです。税込後の値段が N\$690 であるため、税込前の値段は

$$N\$690 \div 1.15 = \underline{N\$600} (=原価) \dots (答) \quad \text{となります！}$$

次回：放課後のサッカーについて紹介します！